

スキルラボ利用状況報告書

2022年5月31日

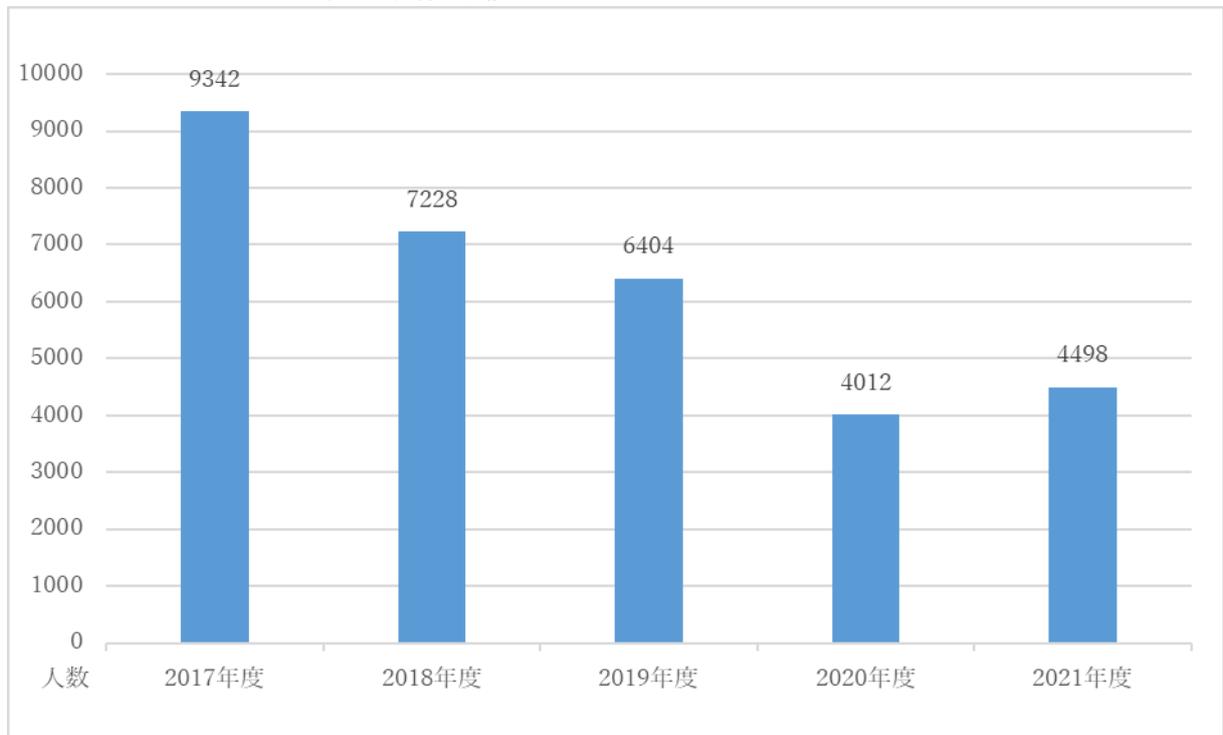
堀恵子 山崎加奈枝 大坪芳美

昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス（COVID-19）の影響があったが、実習等は対面授業が許可され、授業での利用者は昨年より増加した。しかしながら、学外利用者が多数参加していた講習会や研修会の開催はなく、利用者は大幅に減少したまま、延べ人数は4,498人であった。

2020年度より正式導入された「臨床実習後 OSCE」、2023年度から公的化される「共用試験 OSCE」に対応した学生への安定的なトレーニング環境の提供と実技試験の円滑な運営は必須である。そのため、シミュレータ類の追加購入、更新を行いスキルラボの設備充実をすすめた。また、2021年度文部科学省、感染症医療人材養成事業の大学に選定され、バーチャル解剖台（Anatomege table）、二次心肺蘇生訓練に対応する SimMan 3 G に呼吸管理トレーニング ALS500 を加えた高機能患者シミュレータが導入され、学生や医療従事者の更なる活用が期待できる。

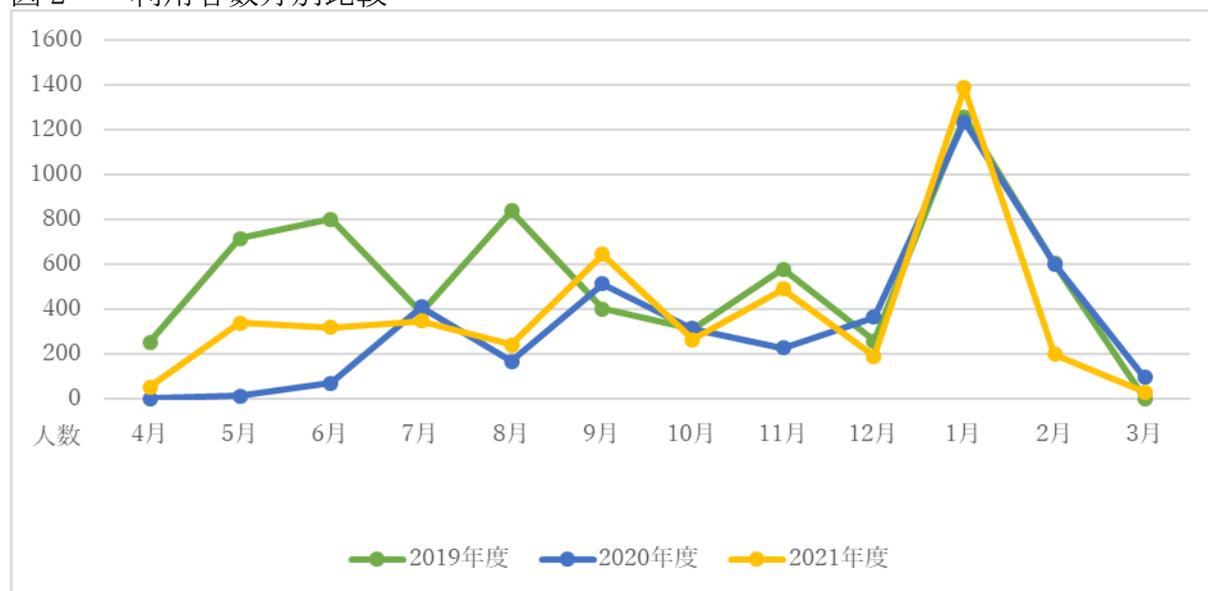
2017年度から5年間のスキルラボ利用者推移を図1に示す。

図1 スキルラボ利用者数推移



2019年度から2021年度の利用者数の月別比較を図2に示す。
 さらに2021年度スキルスラボ利用者の内訳を月別・利用者別に表1に示す。

図2 利用者数月別比較



5・6・7・8月は一定数の利用者があり、9月、11月、1月は増加したが、全体的に利用者は前年通り少なかった。12月以降は概ね昨年同様であった。

表1 2021年度 スキルスラボ利用者内訳

	合計	内 訳			
		学生		学内職員	学外者
		授業	自主学习		
2021年4月	53	40	10	3	0
5月	338	325	0	13	0
6月	318	307	0	11	0
7月	347	215	0	92	40
8月	240	0	200	40	0
9月	645	223	317	85	20
10月	264	204	36	24	0
11月	489	0	412	73	4
12月	190	136	18	31	5
2022年1月	1386	1122	164	100	0
2月	198	0	168	10	20
3月	30	0	9	1	20
合計	4498	2572	1334	483	109

4月は新型コロナウイルス（COVID-19）オミクロン株による感染拡大で対面授業や研修等の予定が中止された。5月からは対面授業や研修の実施、昨年度から正式導入された臨床実習後 OSCE（9月初旬）に向けて自主学習する学生による利用で増加した。1月は共用試験 OSCE に向けての集中講義や自主学習する学生による利用が例年同様で増加した。今年度も新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で、年間を通して各種の講習会、研修会が減少したままで、学内・外の利用が少なく、利用者は大幅に減少したままだった。学外利用状況の詳細については表 2 に示す。来年度も感染予防対策に留意しながら、利用者の更なる活用を期待し、スキルスラボの各種シミュレータ・所有機器等の紹介冊子の作製や案内・整備をすすめていきたい。

表 2 学外者利用詳細

日程	内容	参加者数		担当講座等	開催場所
		学内	学外		
7/11	佐賀糖尿病養育指導士認定研修会	6	40	肝臓・糖尿病 内分泌内科学	学外
9/11, 12	ICLS コース	10	20	高度救命救急センター	学内
2/19	ICLS コース	10	20	高度救命救急センター	学内
3/27	JCIMELS	0	20	産婦人科	学外